

令和 5 年度日本 NGO 連携無償資金協力署名式典

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド 「カンボジア王国 ICT 化による質の高い 4 年制体育教員養成大学支援プロジェクト」 (第 2 年次)

特定非営利活動法人 難民を助ける会 「カンダール州における職業訓練校の環境整備および地域社会との連携強化による障がい者就労促進事業」

令和 6 年 3 月 25 日(月)、令和 5 年度日本 NGO 連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて開催しました。同署名式では、植野篤志特命全権大使が、(特活)ハート・オブ・ゴールドの西山直樹・事務局長との間で「カンボジア王国 ICT 化による質の高い 4 年制体育教員養成大学支援プロジェクト」(第 2 年次)(供与限度額 553,969 米ドル)について、また、(特活)難民を助ける会の大室和也・地域統括との間で「カンダール州における職業訓練校の環境整備および地域社会との連携強化による障がい者就労促進事業」(供与限度額 300,987 米ドル)について、それぞれの贈与契約書に署名しました。

(特活)ハート・オブ・ゴールドは、2019 年より本事業を通じて、カンボジア唯一の体育・スポーツ教員養成機関である国立体育・スポーツ研究所(NIPES)を 4 年制大学とする事業を実施しています。本事業では、現状の NIPES マネジメントの課題として挙げられている 7 分野(図書館運営、国際センターの運営、内部評価システム、教員養成、学生管理、卒業生支援、安全管理)を改善するため、ICT を活用することで各分野の課題解決に取り組みます。これらの活動を通じて、NIPES が持続的にシステム構築、人材育成、施設整備をできるようになり、カンボジアの体育カリキュラムに沿った質の高い中・高体育教員を持続的に輩出できる体制が構築されることを期待します。



(特活) ハート・オブ・ゴールド
西山事務局長との署名の様子



(特活)難民を助ける会
大室地域統括との署名の様子

(特活)難民を助ける会は、本事業を通じて、カンダール州における障がい者の就労状況を改善するため、既存の職業訓練学校の環境整備を行うとともに、周辺コミュニティとのネットワークの構築を行います。具体的には、職業訓練校施設のバリアフリー化を進めるとともに、職業訓練に必要な資機材の整備を行い、より多くの方が技術を身に付けられる技能訓練の環境を整えます。加えて、職業訓練校の職員や地域社会を対象に、障がい理解及び障がい者の

就労に対する理解を促進する研修・啓発活動を行います。これらの活動を通して、障がい者が自らの能力を活かして、社会的・経済的に自立し、より包括的な社会が実現されることを期待します。



植野篤志特命全権大使
によるスピーチの様子

同式典では、植野篤志特命全権大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好関係の発展につながることを願うと述べました。続いて(特活)ハート・オブ・ゴールドの西山事務局長、及び(特活)難民を助ける会の大室地域統括が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

(了)

令和5年度日本NGO連携無償資金協力

贈与契約署名式典 植野大使スピーチ

2024年3月25日(月) 於:日本国大使館多目的ホール

認定特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド

「カンボジア王国ICT化による質の高い4年制体育教員養成大学支援プロジェクト」

特定非営利活動法人 難民を助ける会

「カンダール州における職業訓練校の環境整備および地域社会との連携強化による障がい者就労促進事業」

- 認定特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド 事務局長 にしやま なおき 西山 直樹様
- 特定非営利活動法人 難民を助ける会 地域統括 おおむろ かずや 大室 和也様
- 御列席の皆様

おはようございます。本日、令和5年度日本NGO連携無償資金協力の対象案件2件の贈与契約署名式典をここ日本大使館で実施できることをうれしく思います。

日本NGO連携無償資金協力、通称「N連」は、日本政府が日本の国際協力NGOに対して、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として2002年に始まりました。カンボジアでは、2002年から現在まで、この制度を通じ160を超えるプロジェクトを支援しており、これらのプロジェクトはいずれもカンボジア国民の生活の質の向上に直接貢献してきました。

ここで本日署名された事業について簡単に御紹介させていただきます。

「認定特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド(HoG)」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約55万米ドルを供与いたします。

ハート・オブ・ゴールドは、2019年より、N連事業を通じて、カンボジア唯一の体育・スポーツ教員養成機関である国立体育・スポーツ研究所(NIPES)を4年制大学とする事業を実施しておられます。今回対象となる事業は、国立体育・スポーツ研究所のマネジメント上の課題として指摘されている7分野(図書館運営、国際センターの運営、内部評価システム、教員養成、学生管理、卒業生支援、安全管理)の状況を改善するため、ICTを活用して各分野の課題解決に取り組むものです。この事業により、国立体育・スポーツ研究所が持続的にシステム構築、人材育成、施設整備に取り組めるようになり、もってカンボジアにおいて質の高い中・高体育教員を持続的に養成できる体制が構築されることを願っています。

「特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR Japan)」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約30万米ドルを供与いたします。

本事業は、カンダール州における障がい者の就労状況を改善するため、既存の職業訓練学校の環境整備を行うとともに、周辺地域におけるコミュニティとのネットワークの構築を行うものです。具体的には、職業訓練校施設のバリアフリー化を進めるとともに、職業訓練に必要な資機材の整備を行います。加えて、職業訓練校の職員や地域社会を対象に、障がい理解及び障がい者の就労に対する理解を促進する研修・啓発活動を行います。本事業を通して、カンボジアにおいて障がい者が自らの能力を活かして社会的・経済的に自立し、より包括的な社会が実現されることを願っています。

近年、発展目覚ましいカンボジアではありますが、貧困対策、保健、教育、環境を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題はまだ山積していると思います。日本政府・大使館としては、今後とも、日本の国際協力NGOの皆様と連携し、カンボジアにおける様々な課題解決を後押ししていきたいと考えています。

本日 N 連の供与対象となった 2 案件の事業が順調に進展し、大きな成果を収めること、また、本日御出席の皆様の御健康と御多幸、さらには日本とカンボジアの友好関係のますますの発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN
IN THE KINGDOM OF CAMBODIA

PRESS RELEASE

No. 17 PR-24/EoJ

25 March 2024

**Japan Provides US\$854,956 for
Developing Quality Physical Education Teacher,
and Promoting Employment for Persons with Disabilities**

The Government of Japan will provide US\$854,956 in total for 2 recipient organizations under the framework, *the Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract was signed today between H.E. Mr. UENO Atsushi, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representative of each recipients, to carry out the following projects:

1. ‘Project on Developing 4-year Quality Physical Education Teacher Education University through Utilizing ICT’ (Year 2) (US\$553,969)

Recipient: Non-Profit Organization Hearts of Gold (HoG)

In this project, HoG will implement some activities to improve the management system of the university, such as library, international center, internal quality assurance, teacher development, student management, alumni support and security management in National Institute of Physical Education and Sport (NIPES) by utilizing ICT. This project aims to establish sustainable management structure in order to train teachers of physical education fitted with “Minimum Standards for Accreditation of Higher Education Institutions (MSAHEI) ” in Cambodia.

2. ‘Promotion of employment for persons with disabilities through improving the environment of Women’s Development Center and strengthening the network with communities in Kandal Province ’ (US\$300,987)

Recipient: Association for Aid and Relief, Japan (AAR Japan)

In this project, AAR Japan aims to improve working conditions of persons with disabilities in Kandal Province by improving the environment of vocational training center and by building networks among the local communities. The vocational training center will be introduced with universal-design facilities and equipped with materials required for trainings. Additionally, staffs will be trained for better understanding on disability so that persons with disabilities

could smoothly adjust and acquire skills while they learn. It is expected that the project will contribute to socialization and realization of economic independence of persons with disabilities.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$54 million for 160 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in the Kingdom of Cambodia

Tel: 023-217-161

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>